

一般質問

まつざわ 和昌 議員 (自民)



防災について

問 どのようなトイレトラック購入を考えるか。また平常時の活用や派遣の計画を準備するべきでは。

答 断水時でも水洗トイレとして使用でき夜間照明を確保できる衛生的なトイレである。イベントや訓練で活用すると共に、被災地へ派遣ができる体制を構築していく。

問 災害時でも平常時でも活用できるコンテナ・トレーラーハウスを都と連携し準備をするべきでは。

答 被災地での活用の好事例などを含め情報収集をしていく。

問 区の防災マップには街頭消火器の地図はあるが防火水槽の記載がない。防火水槽の場所も記載すべき。

答 東京消防庁のアプリで確認できる。区のHPにリンクを貼るなど周知について工夫をしていく。

問 防火水槽の重要性を認識する為訓練を消防団と一緒にやるべきでは。

答 消防職員との連携を含め防火水槽を使用した訓練を検討する。

問 井戸水などの消火水利を避難所すべてに設置するべきでは。

答 43か所の区民避難所には浅井戸を既に設置し、防災広場の整備に併せて地域の声を聞き増設を検討する。

問 ペット同行避難において、ケージ等を避難所に備蓄し、品川区でもガイドラインを作成するべきでは。

答 今年度から備蓄は始める。避難所運営マニュアル作成の中で、ペットの受入方針を示し全避難所で行避難が実施できるよう支援する。

不登校・いじめについて

問 不登校やいじめ件数の推移は。

答 不登校やいじめ件数の推移は、年々増加している。認知件数の増加は積極的に認知を行っている結果であり、いじめ早期発見・対応が着実に進んでいる。

問 不登校の要因をしつかりと見つけ出すため、新しい対応を考えては。

答 国の調査の趣旨に基づき丁寧な分析を行い対策に生かしていきたい。

問 スクールソーシャルワーカーなどの専門家を学校に常駐するべき。

答 人材確保などの課題があるが支援体制について検討する。

一般質問

吉田 ゆみこ 議員 (未来)



地方自治法改定に対する品川区の考え方について

問 品川区は、今回の地方自治法改定に対して何か意見を言ったのか。

答 国に対して区から個別に意見を述べる機会はありませんでした。

問 本改定は地方自治の本旨に反するものと受け止め今後も地方自治を守る姿勢を貫くべきと考えるか？

答 今後も地方分権一括法で構築された国と地方との関係の基本原則にのっとり、区が担うべき事務は区の責任において実施する。

問 学校教育の現場における不適切指導と、教員のメンタルケアと職務上の負担軽減について

問 都教委が毎年全公立学校を対象に行う体罰等の実態把握調査について、郵送やオンラインの回答も有効と考えるが、見解を。

答 2022年度は質問紙による回収を学級担任以外が実施。2023年度からは、郵送での提出や電話、メール、オンラインによる回答もできるようなっている。引き続き複数の方法を紹介して対応。

問 教員の職務上の負担軽減とメンタルケアの必要性も痛感。教員向けの相談窓口はどのような窓口か。

答 産業医等による健康相談や職員によるハラスメント相談。東京都の窓口では、弁護士による相談。

問 教員負担軽減策としてエデュケーション・アシスタントの活用は？

答 今年度2校で試行実施。次年度以降の拡大配置を検討。

障がい者の多様な働き方について

問 区の正規職員として働く方的人数は？業務支援室で働く人数は？

答 区では6月現在、44人の正規職員をいずれの障害種別でも雇用。業務支援室では、現在、8人の会計年度任用職員が勤務。

問 民間事業に超短時間雇用を促す仕組みについて、マッチング成功事例は何件？仕事内容は？

答 成功事例は、施設の清掃業務とテレワークによる業務の2件の実績。(その他の質問)

・羽田新ルートについて

一般質問

塚本 よしひろ 議員 (公明)



防災対策について

問 トイレトラック導入に伴い、災害派遣トイレのネットワークに参画し、ネットワーク構築を推進せよ。

答 一般社団法人助けあいジャパンの災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参加し、他区に対して積極的に情報提供してゆく。

問 管理不全空家の指定について、判断基準とスケジュールを聞く。

答 判断基準は建築物外装材の剥落状況など国のガイドラインも踏まえて定める予定で、年内の運用開始に向けて検討を進める。

問 今後開業予定のリニア中央新幹線により品川駅と45分で結ばれる長野県飯田市をはじめ、災害時相互援助協定など、自治体間連携を積極的に推進せよ。

答 自治体間連携の強化が肝要と考え

高齢者支援について

問 加齢性難聴等で聞こえ難い方のため、区役所などの窓口に軟骨伝導補聴器の設置を求める。

答 軟骨伝導補聴器は一定の効果があると認識しており、高齢者や障害者が訪れることの多い福祉部内の窓口に試験的に設置を検討する。

問 セーフティネット専用住宅を増やす取組と家賃滞納や残置物処理に対する保険料助成を求める。

答 セーフティネット専用住宅の積極的な制度の周知に努め、保険料助成等の導入も検討する。

障がい者支援について

問 視覚障がい者のためのスマホ教室の実施を求める。

答 実施に向けて日程調整等を進める。

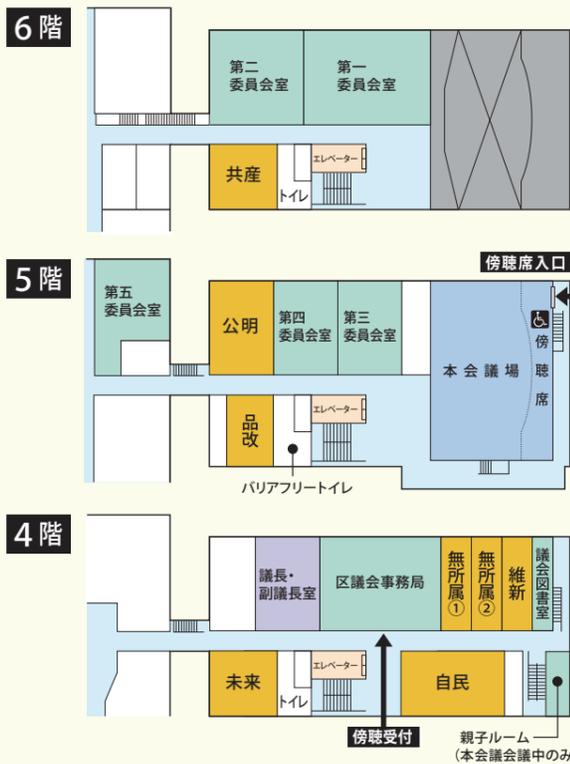
問 強度行動障がい支援では、より困難の高い人が通所・短期入所施設で受け入れられるよう求める。

答 職員の専門性向上を支援することで、困難度の高い方の受け入れが可能になると考える。

(その他の質問)

・元気なシニアが活躍する地域づくりについて

議会棟案内図 (各党派等の控室)



- 品川区議会自民党・無所属の会 (自民) 電話 03-5742-6813 Fax 03-3777-0167
- 品川区議会公明党 (公明) 電話 03-5742-6817 Fax 03-3774-3366
- しながわ未来(無所属・立憲・ネット) (未来) 電話 03-5742-7810 Fax 03-5728-9736
- 日本共産党品川区議団 (共産) 電話 03-5742-6818 Fax 03-3778-3088
- 品川改革連合 (品改) 電話 03-5742-6816 Fax 03-3772-8878
- 品川区議会日本維新の会 (維新) 電話 03-5742-6018
- 会派に属さない無所属の議員 (無所属) ① 電話 03-5742-6864 ② 電話 03-5742-6814